

A large red truss bridge has collapsed into a river. The bridge's structure is partially submerged, with debris and a blue cloth visible. The surrounding area is grassy and hilly.

[illegible]

A vertical collage of seven photographs showing the aftermath of a major flood in Japan. The images depict: 1) A flooded street with debris and a large concrete structure. 2) A flooded residential area with houses partially submerged. 3) A flooded street with a person standing on a raised walkway. 4) A flooded area with a large pile of debris and a yellow sign. 5) A flooded street with a large pile of debris and a yellow sign. 6) A flooded street with a large pile of debris and a yellow sign. 7) A flooded street with a large pile of debris and a yellow sign.

7月4日未明、球磨川及び支流の増水氾濫により、幹線道路が次々に浸水や決壊、土砂流出などで通行不能になり、ほぼすべての集落が孤立状態となった。

自衛隊 消防、警察、民間による決死の救出作戦がはじまり、各方面からアタックが行われたが、壮絶な被災現場に一時断念や他ルートによる再アタックを行うも、困難を極め、救出に時間を要した。

あの日、あの時、球磨村に起きた事象を検証と共に綴る。

被害概要図

熊本県球磨村
kuma village



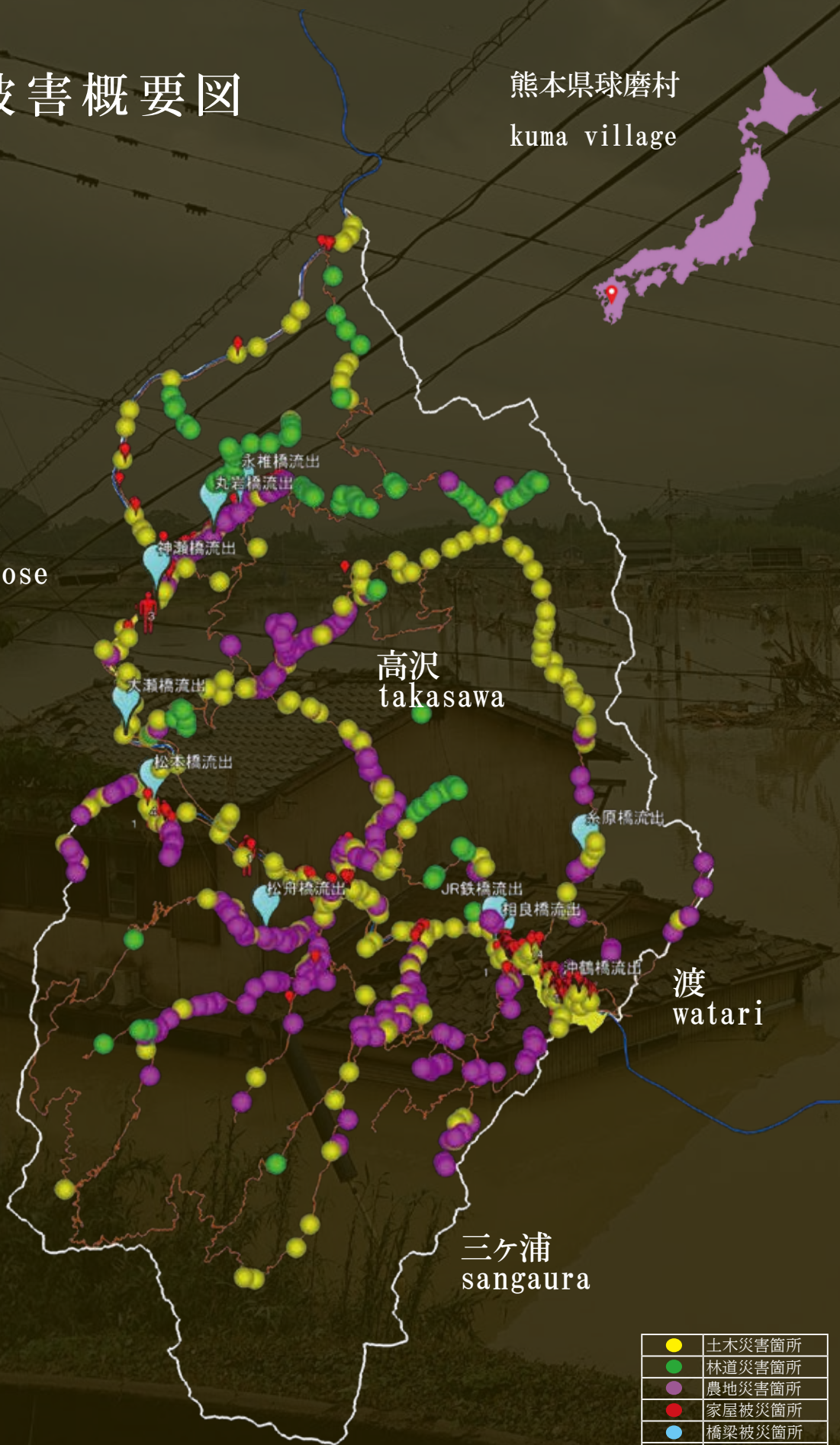
神瀬
kounose

高沢
takasawa

一勝地
isshochi

渡
watari

三ヶ浦
sangaura



●	土木災害箇所
●	林道災害箇所
●	農地災害箇所
●	家屋被災箇所
●	橋梁被災箇所
—	道路
—	球磨川

発刊にあたって



球磨村長 松谷 浩一

令和2年7月豪雨において被災された村民の皆様に改めてお見舞い申し上げます。

球磨村では今回の災害により、25名もの尊い命が奪われ、住宅や道路・橋梁等の多くの貴重な財産が傷つきました。そして、住宅に大きな被害を受け、仮設住宅での仮の生活を余儀なくされ、住まいを含めた生活再建の行く末に悩みや不安を抱えられている村民の方々が多数いらっしゃいます。

このような状況の中、抜本的な治水対策が完了するには相当な長い年月がかかると考え、この愛すべき球磨村に住み続けるには、まずは今できる防災・減災対策を早急に検討・実施することとし、この報告書をまとめました。

この報告書は、球磨村の今後の防災・減災に資することを第一の目的としていますが、国内外で頻発している気象災害への対応の一助となれば幸いです。

令和3年11月

あの日、あの時 令和2年7月豪雨の記憶 1

第1章 令和2年7月豪雨災害の概要 9

- 1) 豪雨の概要 9
- 2) 7月3日～7月4日にかけての球磨村の状況の抜粋(5時から8時の状況) 11

第2章 被害の概要 13

- 1) 雨量・水位・被災状況相関図 13
- 2) 人的被害状況 13
- 3) 建物被災状況 14
- 4) 公共施設被災状況(建物) 14
- 5) 公共施設被災状況(村道、林道、農地) .. 15
- 6) 被災直後の指定緊急避難場所の状況 15
- 7) 道路啓開状況 16
- 8) 孤立集落発生状況 16
- 9) 水道復旧状況 17
- 10) 避難所の状況 17
- 11) 迂回集落の状況 18
- 12) 被災前後の人口変化 18

渡 watari

7月4日の明け方には、低い土地から浸水が広がり、午前7時以降増水の速さが増しました。雨が強くなった午前1時から9時間後、渡駅周辺の浸水から5時間後の午前10時頃に、渡地域は最大の水位を記録し、多くの被害を受けました。

また、小川川沿いでは、午前0時以降、急激に強まった雨により、山腹崩壊や道路決壊、橋梁流失などの被害が起こり、孤立解消に9日間、境目地区までの道路通行可能まで20日以上を要しました。



地下の踏切から、標識が倒れ電柱が傾く様子



島田地区、洪水が家屋の二階屋根を覆い、電線の至る所に痕跡残る



茶屋地区、洪水の勢いが強く、軒並み家屋を押し流した。水位は屋根に到達、住民は辛うじて屋根に避難し救助された



相良橋、流出前の様子



相良橋及びJR肥薩線球磨川第二橋梁の被災状況



小川地区、流木が家屋に覆い被さる様子



国道219号の路肩や待避場の流失



ひめじ まや
日當 菜耶さん（山口班）

お父さんが消防団で出動していたので、お母さんと兄弟と運動公園に避難しました。早めに避難していて、多くの人が避難してくる度に不安が募っていきました。運動公園から浸水した景色を見て、「なんでだろう」と悲しい気持ちになりました。現在は、ムービングハウスに住んでいます。これまで住んでいた家より狭いけど、帰るところがあるだけで安心しますが、それでもやっぱり元の家に帰りたい気持ちが強いです。今回被災して、災害に対する考えを持つ機会となりました。今回のようなことは起こって欲しくないのも、もっと学べる機会があったらいいと思います。



ひがし けんじ
東 研志さん（茶屋班）

当時は妻と二人で自宅にいました。避難しようとしたが、既に水が来ていたため外へ避難することが困難でした。二階に垂直避難し、最終的には屋根まで避難。自衛隊のヘリコプターで救助されました。自衛隊の人が親切だったのがとても印象に残っています。これまで避難する意識が足りていなかったと改めて感じました。グラウンド仮設に住んでいますが、落ち着いた生活を送れています。今回被災して、全国の皆さんに助けていただき感謝しかありません。復興へは球磨村に住んでいたのので早急な宅地の確保と高齢者でも住めるアパートがあればいいと思います。



糸原地区、糸原橋の流失状況



村道渡大槻線は全線におよび被災



JR肥薩線渡駅被災状況



指定緊急避難場所であった渡多目的集会施設の発災時の浸水状況



福祉施設及び渡小学校の浸水状況



渡小学校体育館、被災後に床が反りあがった様子

一勝地 isshochi

午前0時以降強さが増した雨は、あらゆる谷を洗掘し、土石を国道や県道、村道に運び通行不能にしました。その後、支流の氾濫が増し、県道高沢一勝地線の至る所で決壊が相次ぎました。本流球磨川沿いでは、村道告線JR架橋下が2時半頃には冠水したもののと思われ、その後は、柴立姫神社付近や低いところの県道が3時頃、友尻村営住宅前が5時前頃に浸水し、球磨川沿いの集落は行き場を失いました。国道の決壊や土砂流入により全域が孤立状態となり、村道馬場線を使い、5日後に小型車両のみが通行可能になりました。



友尻地区及び中園地区の被災状況



国道219号馬場洞門付近、中央線より球磨川側流失



国道219号馬場地区、国道及びロードパーク流失



球磨橋被災の痕跡



宮園地区から友尻方面洪水状況



湊田酒造付近被災状況



小谷地区被災状況



ともじり 友尻 辰生さん（友尻班）

高齢者が多い中、増水により八方塞がりとなり、線路を伝い公民館へ避難したが、裏山の崩壊により一勝地駅へ再避難した。発災からは、住民らの野菜や山水で生活し、10日を過ぎてからはボランティアの方々からの支援により生活を送った。

災害は、いつ・どこで・誰があってもおかしくない世の中になった。これで大丈夫と言うことは決していない事を体験して実感した。発災時の困難を乗り越えられたのは、地域の人達の連携があったから出来たと考える。人と人の繋がりを大切にし、皆で助け合い、支えあう世の中を願う。



浦野地区被災状況



板崎地区被災状況



村道第二田代線被災状況



県道一勝地神瀬線被災状況



淋地区柴立姫神社被災状況



松本橋流失



JR肥薩線球泉洞駅付近被災状況

神 瀬

kounose

午前0時以降強さが増した雨は、あらゆる谷を洗掘し、土石を国道や村道に運び通行不能にしました。また、この水が国道を流れ、木屋角集落へ到達し、川内川に収束された土石流も合わせ、下流の集落を襲い大きな被害をもたらしました。本流球磨川沿いでは、初めに裏山からの出水が激しくあった後、明け方に球磨川の増水が堤岩戸地区の宅地へ侵入しました。11時30分頃に最大水位を迎え、大瀬～和田間以外の国道は楮木まで冠水しました。それから国道が一勝地方面へ通行可能になるまで20日以上を要し、復旧の着手が遅れました。また、水道の復旧には2ヵ月程度要しました。



神瀬中心部洪水時の状況



大瀬橋流失



堤岩戸地区浸水状況



神瀬橋流失



木屋角地区被災状況



木屋角地区及び上原地区被災状況



松野地区被災状況



うえはら ともこ
上原 朋子さん（木屋角班）

自宅にいて午前3時ごろ、川内川の音で目が覚めました。主人は消防団として出動していたので子どもたちと避難しました。一時避難所でこれまで見たこともない濁流に呆然としていたのを覚えています。現在は人吉市のみなし仮設に住んでいます。近所の人がいい人ばかりで不安はありません。今回の災害で、高齢者等避難が発令されたら誰一人欠けることなくみんなで避難しなければいけないことを学びました。現在神瀬を離れていますが、神瀬の不便さが良かったと改めて感じています。新しい神瀬地域の復興を願って頑張りたいです。



四蔵地区被災状況



大岩地区被災状況



日当地区被災状況



伊高瀬地区被災状況



国道219号上部地区被災状況



国道219号多武除地区被災状況



国道219号瀬戸石付近被災状況



林道川島大岩線被災状況

三ヶ浦

sangaura

球磨川沿いの家屋は、渡地域や一勝地地域と同様の被害が発生しているほか、県道の冠水と決壊により、三ヶ浦地域全体が一次的に孤立状態となりました。相良橋や沖鶴橋の流失により生活路線が途絶えたことで、長距離の迂回路を長期間にわたり使用する事となりました。



ながお よういち
永尾 洋一さん（鵜口班）

当日は渡にいる娘の自宅に向かうため、午前4時頃に相良橋を渡りました。まだ暗く水位がどのくらいだったのか確認できませんでした。後に相良橋が流出したのを知り恐怖を感じました。自宅に帰れたのは、発災から3日後でした。自宅は無事でしたが、地区でも家屋の浸水被害があり気がではありませんでした。球磨村も地区も今後どうなっていくのか不安です。被災した人が、少しでも早く落ち着いた生活ができるように、宅地や集合住宅の整備を早急に願います。



沖鶴橋流失



鵜口地区浸水状況



JR肥薩線被災状況



JR肥薩線那良口踏切被災状況



那良口地区被災状況



毎床地区被災状況

高 沢

takasawa

河川付近の県道や村道は、夜中3時以降から冠水が始まり、隣接する家屋に大きな被害をもたらしました。全ての生活道路が被災したことで、ヘリコプターによる救助が行われ、全救出までは7日間を要しました。生活道路である県道高沢一勝地線の被害は大きく、今なお林道大瀬線からの迂回を強いられています。



たかさわ しげお
高沢 重治さん（高沢班）

発災時は、立木が橋に詰まり、川の水が道路にあふれ、道路が川の様になっていました。一戸は全壊、川沿いの家が数軒床上浸水し車も4台ほど流され、県道高沢一勝地線で道路崩壊等が相次ぎ、孤立状態となりました。避難中は、女性の方が中心に炊き出しを行い、米、野菜のほか必要な物は、それぞれの家庭から持ち寄ってもらいました。

当地区は、皆さんが快く協力していただき、本当にありがたかったです。いつ災害が起こるかわからないので、最低でも懐中電灯、保険証、2～3日分の着替え等を一つにまとめて、いつでも持ち出せるように準備しておいてもらいたいと思います。



高沢地区被災状況



県道高沢一勝地線被災状況



村道横井大瀬線被災状況



坂口地区被災状況



村道沢見線被災状況

■ 気象状況

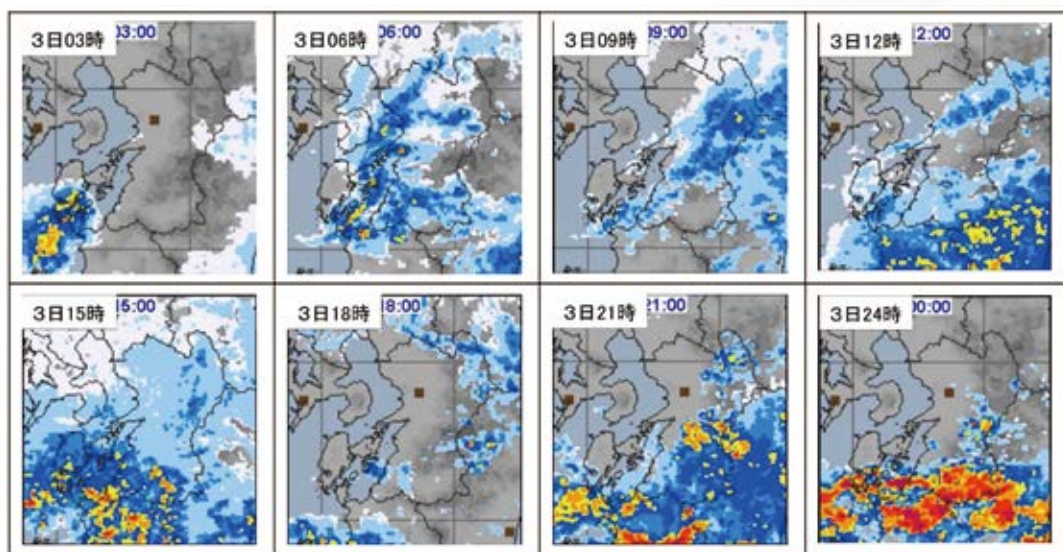
7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進んだ。低気圧の東進に伴って3日夜には梅雨前線が九州北部地方まで北上、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となった。

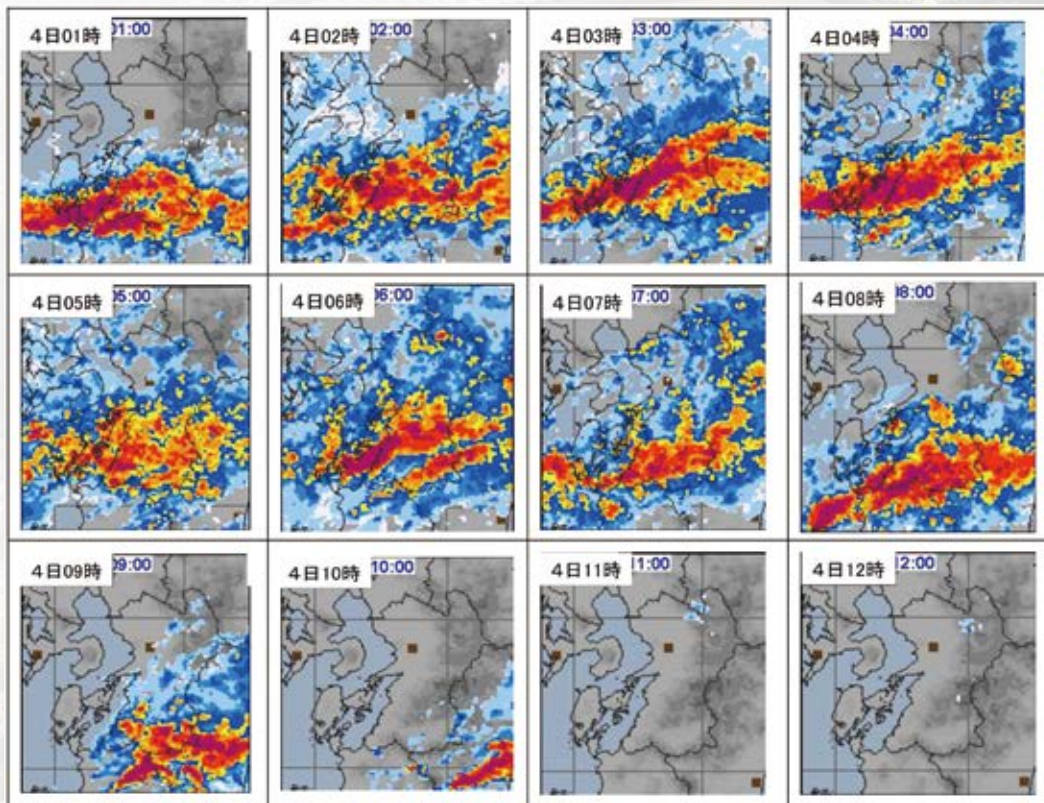
このため、4日未明から朝にかけて、熊本県では記録的な大雨となったところがあった。

■ 大雨の状況

4日未明から朝にかけて県の南部を中心に局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、芦北町付近では3時20分に約110ミリの猛烈な雨を解析し、気象庁は記録的短時間大雨情報を発表した。その後も天草市、芦北町、津奈木町、人吉市、あさぎり町、球磨村、八代市付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報を発表した。また、4日4時50分に天草・芦北地方、球磨地方、宇城八代に大雨特別警報を発表した。この大雨特別警報は4日11時50分にすべて警報に切り替えた。

この大雨で1時間降水量では牛深（天草市）の98.0ミリを含む2地点、3時間降水量では牛深（天草市）の205.5ミリを含む7地点、6時間降水量では田浦（芦北町）の325.5ミリを含む9地点、12時間降水量では水俣（水俣市）の415.0ミリを含む9地点、24時間降水量では湯前横谷（湯前町）の489.5ミリを含む7地点、48時間降水量では多良木（多良木町）の418.5ミリが観測史上1位の値を更新した。



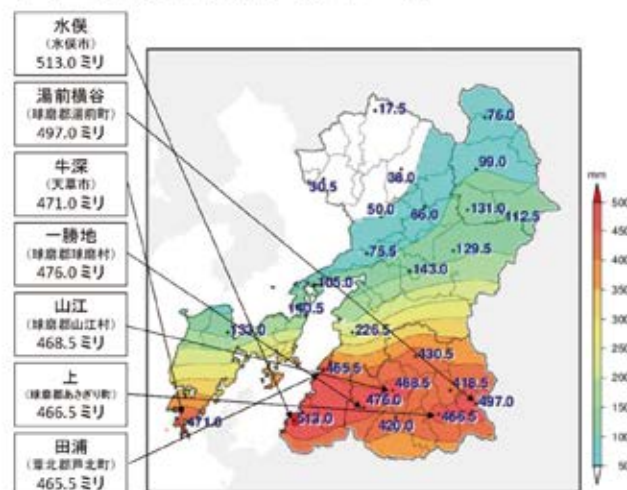


気象レーダー画像(7月4日01時～08時 1時間毎) 熊本県

記録的短時間大雨(解析雨量)

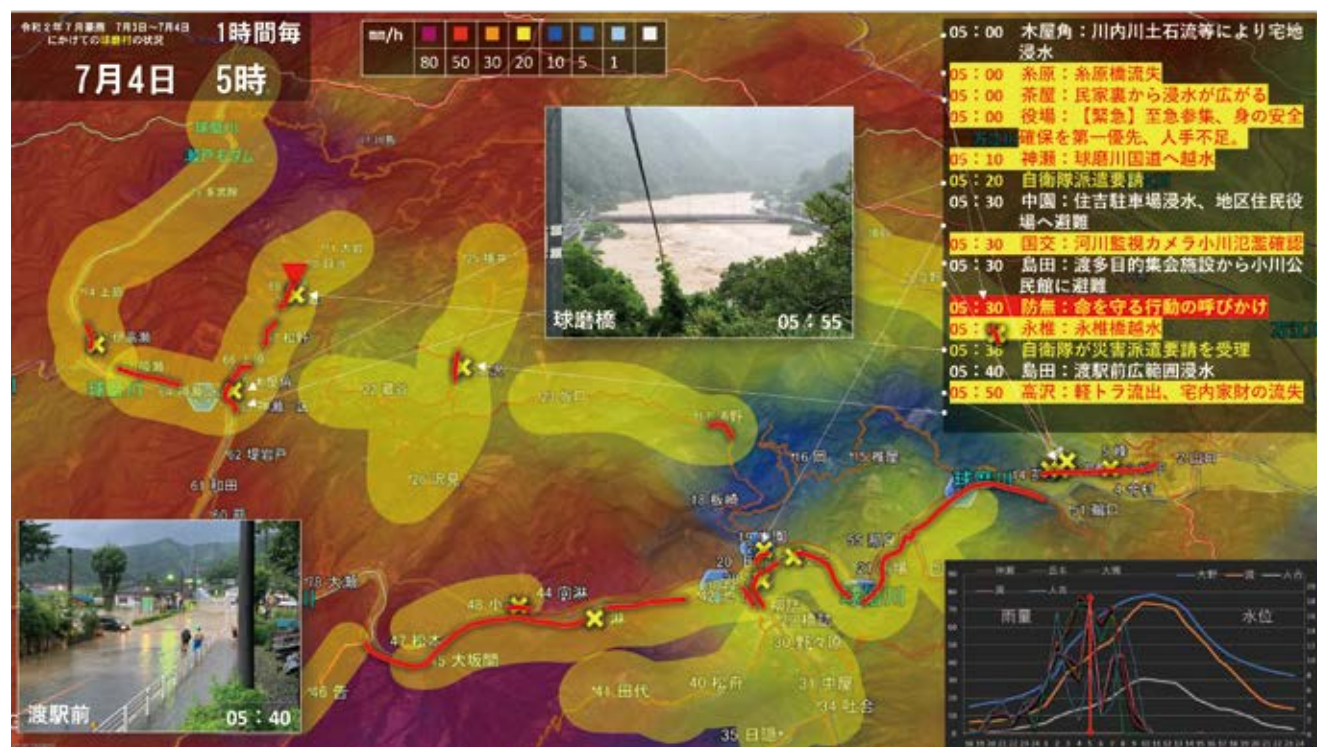
03時20分までの1時間：芦北町付近で約110ミリ
 03時30分までの1時間：八代市付近で約120ミリ、八代市坂本町付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ
 06時00分までの1時間：芦北町付近で約110ミリ
 06時30分までの1時間：芦北町付近で120ミリ以上、球磨村付近で約110ミリ
 08時30分までの1時間：人吉市付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ、あさぎり町付近で約110ミリ

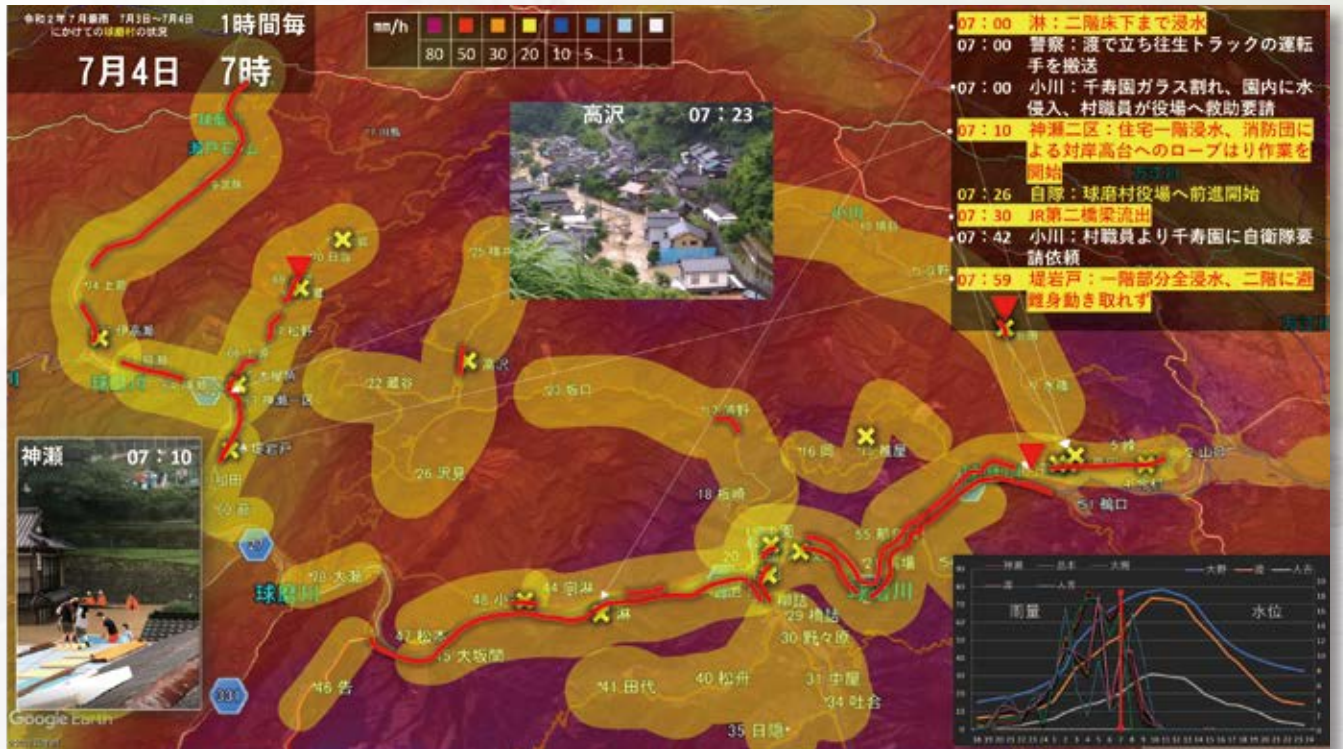
アメダス総降水量の分布図(7月3日～4日)



令和2年7月豪雨災害の概要

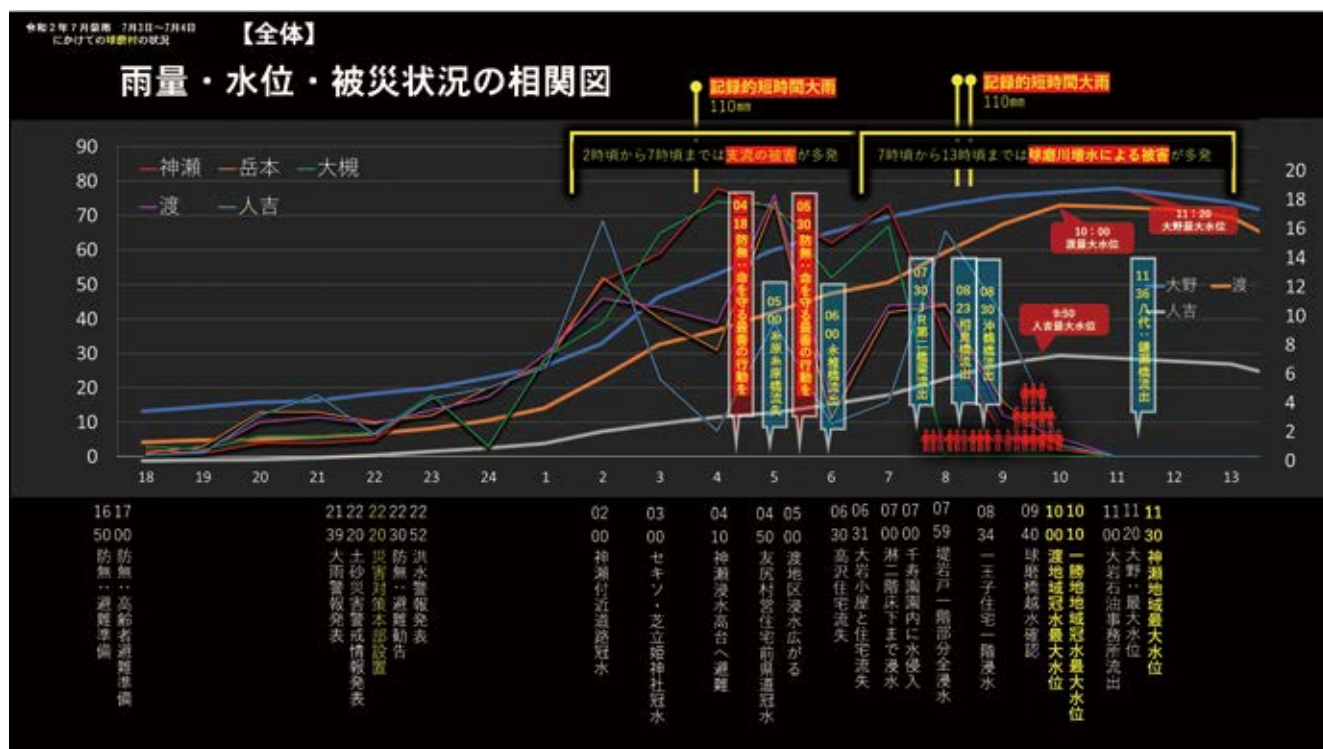
7月3日～7月4日にかけての球磨村の状況の抜粋（5時から8時の状況）





1

雨量・水位・被災状況相関図



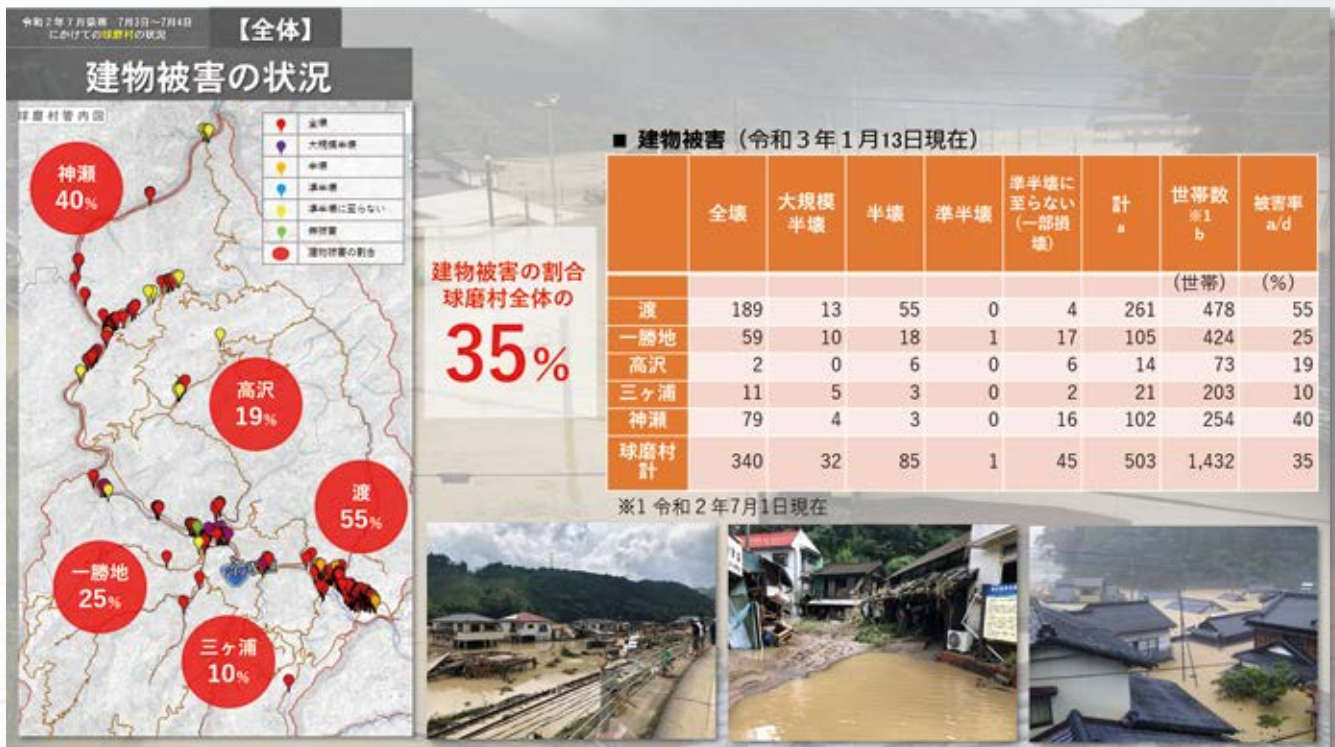
2

人的被害状況



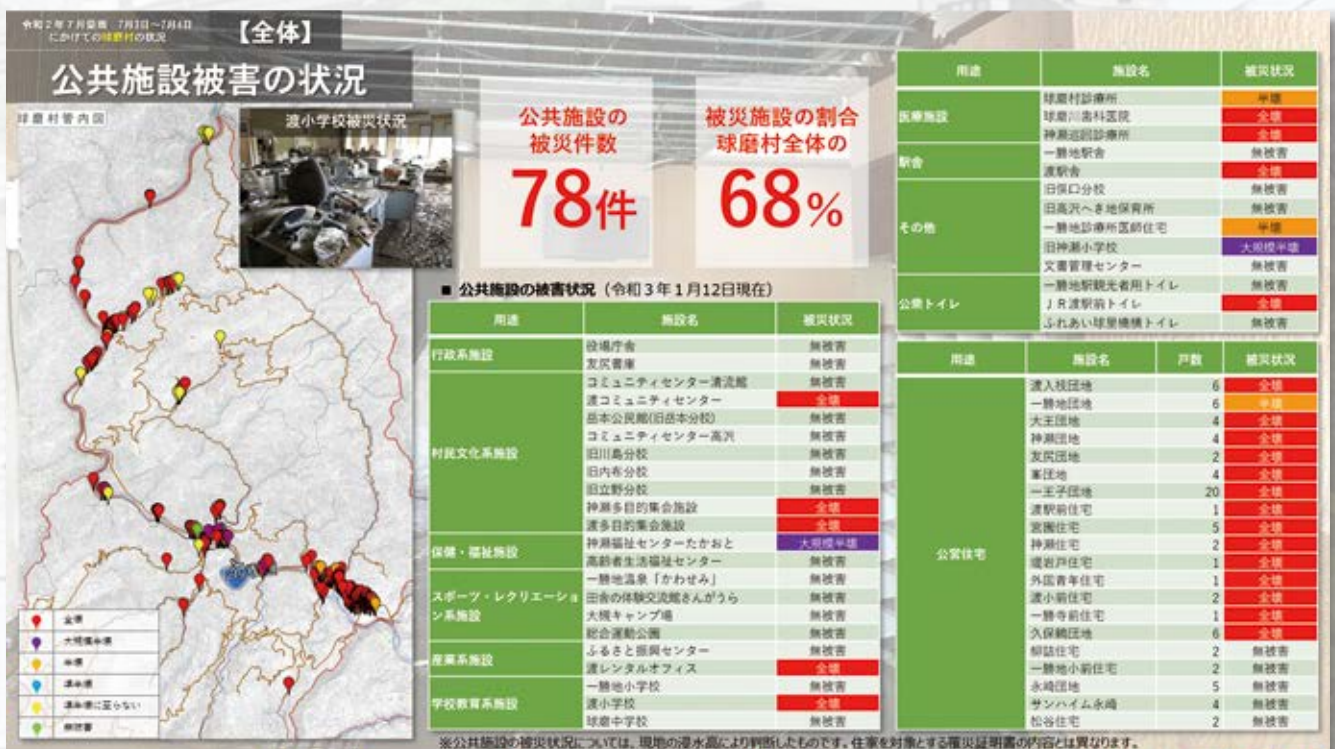
3

建物被災状況



4

公共施設被災状況(建物)



5

公共施設被災状況（村道、林道、農地）



6

被災直後の指定緊急避難場所の状況



7

道路啓開状況



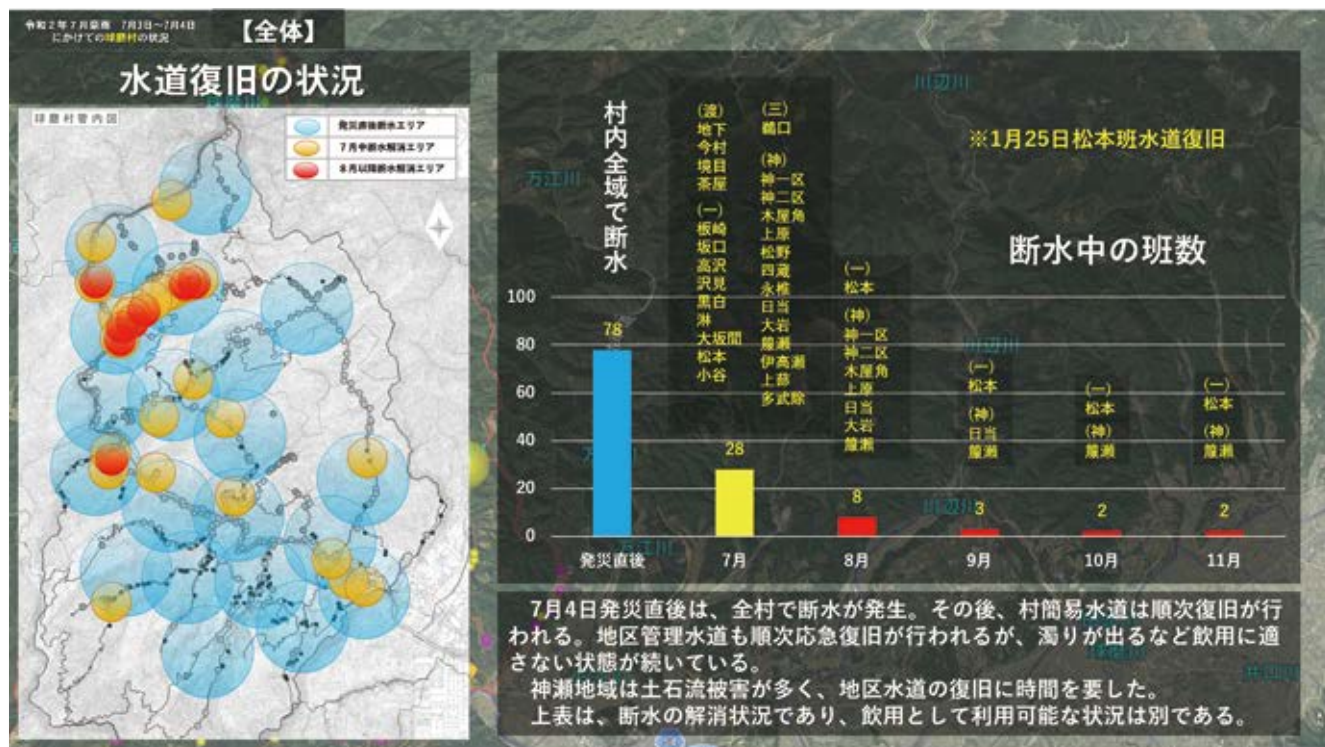
8

孤立集落発生状況



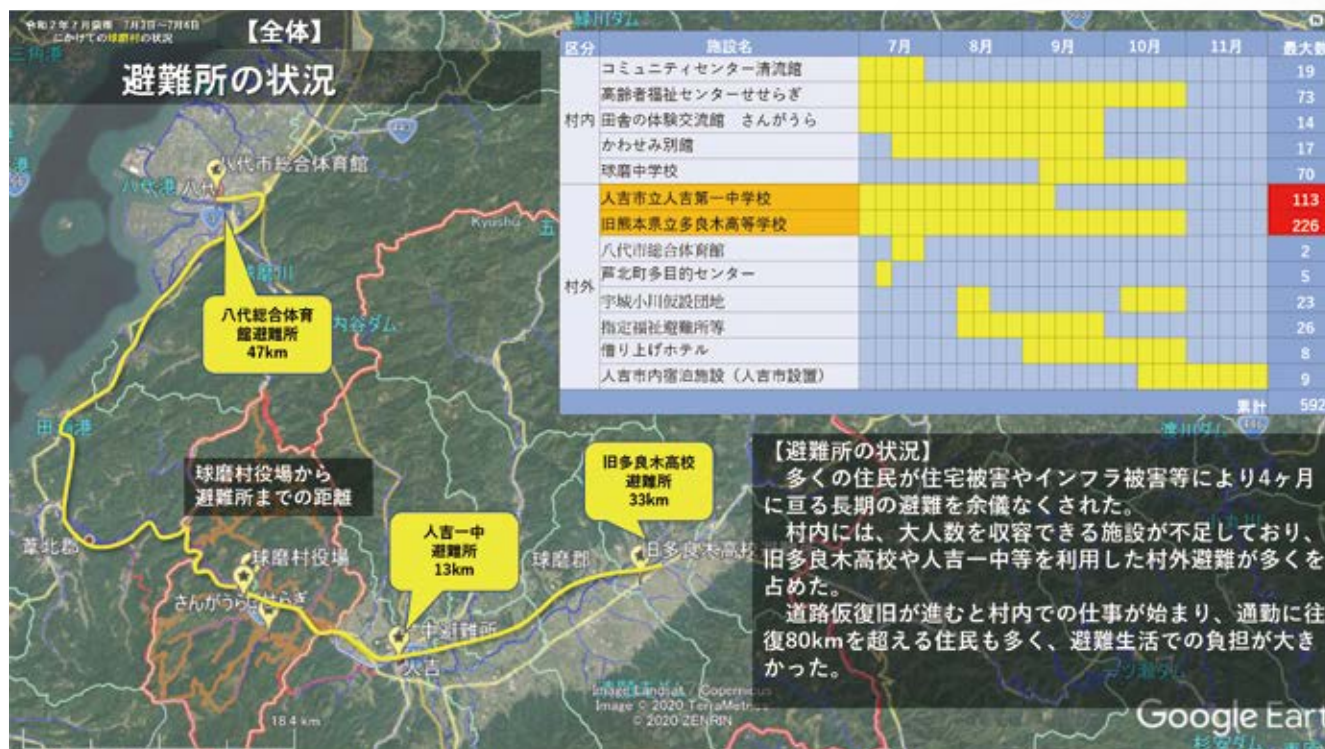
9

水道復旧状況



10

避難所の状況



11

迂回集落の状況



12

被災前後の人口変化



くまむらを未来へ伝えるプロジェクト

球磨村災害復興
特設サイト
開設しました！

令和2年7月豪雨災害から、復興へ向けて歩む
球磨村の様子を、未来へ伝えるサイトです。

アーカイブくまむら

Archive
kuma village

<https://www.archive-kumamura.com/>

アーカイブくまむら

検索



QRコードからでも
サイトにアクセス
できます。



復興に
関する情報

球磨村の
出来事

球磨村の四季
折々の風景など

YouTubeサイト「アーカイブくまむら」



YouTubeサイト「アーカイブくまむら」では、
復旧復興の様子などを
ドローンなどを使って
撮影しています。



！こちらのサイトへのアクセスも
お待ちしております！

球磨村 球磨村公式
kuma village ホームページ



フェイスブック



ツイッター



インスタグラム



お問い合わせ
球磨村役場復興推進課
〒869-6401熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
TEL0966-32-1114 FAX0966-32-1230
kikaku@kuma.kumamoto.jp

本誌掲載項目

※本誌については、球磨村役場復興推進課までお問い合わせください。

本誌掲載項目

あの日、あの時	豪雨災害の記憶	1
第1章	令和2年7月豪雨災害の概要	9
	1) 豪雨の概要	9
	2) 7月3日～7月4日にかけての人吉球磨の状況	11
	3) 7月3日～7月4日にかけての球磨村の状況	23
	4) 7月5日以降の球磨村の状況	39
第2章	被害の概要	45
	1) 被害の概要	45
	2) 各地点の浸水状況	47
	3) 雨量・水位・被災状況相関図	49
	4) 人的被害状況	49
	5) 建物被災状況	50
	6) 公共施設被災状況	51
	7) 被災直後の指定緊急避難場所の状況	51
	8) 道路啓開状況	52
	9) 孤立集落発生状況	52
	10) 水道復旧状況	53
	11) 避難所の状況	53
	12) 迂回集落の状況	54
	13) 被災前後の人口変化	54
第3章	地域別検証	55
	1) 渡地域	55
	2) 一勝地地域	59
	3) 神瀬地域	61
	4) 三ヶ浦地域	63
	5) 高沢地域	65
第4章	避難の呼びかけと初動対応	67
	1) 住民への避難勧告、気象情報等の発令・伝達について	67
	2) タイムラインの活用について	72
	3) 村民の避難行動等の実態について	74
	4) 災害対策本部の運営について	76
	5) 職員の参集、活動状況について	80
	6) 被害情報の収集・共有	85
	7) 自衛隊、消防等関係機関と連携した救出・救助活動、安否及び行方不明者の確認等について	86
	8) 関係機関と連携した医療救護活動	91
	9) 応急給水の実施、水道の復旧について	94
	10) 道路の交通規制について	96
	11) ライフライン（公共土木施設等）の復旧	98
	12) ライフライン（電気・電話・ガス）の復旧	100
	13) 村民・報道機関への情報提供・問い合わせ対応について	101
第5章	被災者の生活再建支援	105
	1) 避難所の運営・避難者支援	105
	2) 避難所における環境設定・感染症対策（新型コロナウイルス感染症対策）	109
	3) 避難行動要支援者の避難支援・福祉避難所	112
	4) 物資の手配・調達・輸送	114
	5) 被災地における保健衛生対策（心のケア含む）	117
	6) 災害ボランティアの受入・活用	119
	7) 応急仮設住宅の建設、被災住宅の応急修理の受付	129
	8) 災害廃棄物の処理	126
	9) 住家被害認定調査及び罹災証明書交付	129
	10) 生活再建支援金の支給について	131
	11) 公費解体の実施	133
	12) 学校教育の再開	135
第6章	組織体制の強化	139
	1) 職員の健康管理・ケア	139
第7章	その他	141
	1) 国等からの視察の受け入れについて	141
	2) 他自治体からの応援職員の声	142
資料		144
	1) アンケート調査結果	144
あとがき		

ご支援のお願い

令和2年7月豪雨災害からこれまで、全国の多くの皆さまからご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

球磨村は災害復興への道を歩み始めました。災害の大きな爪痕が残る中、復興を成し遂げるには長く険しい道のりになると思われます。

皆さまからの応援やご支援が復興の後押しとなりますので、球磨村への「応援」、「ご支援」を今後ともよろしくお願いします。

<https://www.kumamura.com/>

<https://www.archive-kumamura.com/>

球磨村

企画・製作 球磨村役場復興推進課
〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙 1730 番地
tel 0966-32-1114
fax 0966-32-1230
mail : kikaku@kuma.kumamoto.jp